

平成29年度学校評価報告書

平成30年 3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道小樽潮陵高等学校長

次のとおり平成29年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 多様な生徒に対応した懇切丁寧な指導を行い、教科・学年・学校全体が連携して、自主的学習態度を持った高い学力を有した生徒を育てる。
- (2) 生徒の進路実現のために全力で支援するとともに、医進類型の充実や大学との連携によって、高い進路意識を持った生徒を育てる。
- (3) 部活動・生徒会行事・諸活動を通して、生徒が生き生きとした学校生活が送れるように支援するとともに、生徒の自主性、協調性、公共心などを育む。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・指導内容の工夫・改善に努めるとともに、講習・添削指導等を通して個々の生徒の理解度に応じた指導の充実に努めた。 ・シラバスは全教科科目において作成しているが、一層の活用に努める必要がある。	・学習面は保護者も特に期待をしている面なので、さらなる向上を目指してほしい。 ・学力が不足している生徒への指導は継続して続けていってほしい。
改善方策	・新学習指導要領の方向性を踏まえ、今後求められる指導内容や指導方法について検討するとともに、大学進学に対応できる学力の定着を目指して教員研修をより一層充実させる。	
進路指導	・生徒の進路実現に向けて計画的な進路指導を実践し、一定の成果を収めることができた。 ・医進類型を中心にインターンシップの充実に努めた。	・大学受験が多様化しているが、個々の生徒に合わせてきめ細かく指導している。 ・道外の大学にも目を向けさせる指導の充実をお願いしたい。
改善方策	・大学等との連携を深め、キャリア教育の一層の充実を図り、職業観の育成に努める。	
生徒指導	・生徒会活動や部活動等を通して、生徒の自主性や協調性を育むことができた。 ・日常の生徒観察や情報共有によって、いじめの早期発見や未然防止に努めた。	・生徒や保護者との信頼関係が構築されており、適切な指導が行われている。 ・定時制においては、ルールやマナーについてきめ細かく指導する必要がある。
改善方策	・個人面談等により生徒理解に努めるとともに、教職員間での情報の共有を推進する。 ・定時制においては、学校生活全体を通してルールやマナーの指導を徹底する。	
保健・安全指導	・生徒の健康管理や安全管理に向けた環境整備を適切に行うことができた。 ・SCを活用した教育相談体制を整備し、生徒の支援に努めた。	・安全管理上心配であることから、老朽化した校舎や施設設備の早急な更新や整備をお願いしたい。
改善方策	・養護教諭と担任や学校医との連携を一層深め、情報共有に努めて保健管理の充実を図るとともに、安全管理上課題のある施設設備について、引き続き予算の配分を要求する。	
公表方法	・PTA通信 ・WEBページ ・PTA役員会等各種会合	

3 添付資料

- | | |
|------------------------------|----|
| (1) 全日制課程学校評価集計結果(教職員・学校評議員) | 2部 |
| (2) 定時制課程学校評価集計結果(教職員・学校評議員) | 2部 |
| (3) 全日制課程保護者アンケート集計結果 | 2部 |
| (4) 定時制課程保護者・生徒アンケート集計結果 | 2部 |
| (5) 学校評議員による学校関係者評価(全日制課程) | 2部 |
| (6) 学校評議員による学校関係者評価(定時制課程) | 2部 |